

OPERATION BUTTON DEVICE

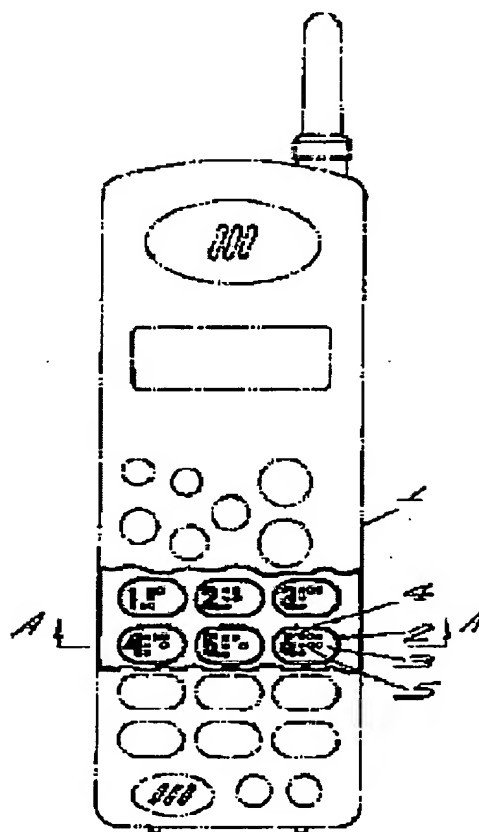
Patent number: JP2000200136
Publication date: 2000-07-18
Inventor: KANEDA YOSHIHIRO; HIRAYAMA MASARU;
 ICHIKAWA TSUTOMU
Applicant: KANEDA YOSHIHIRO; HIRAYAMA MASARU;
 ICHIKAWA TSUTOMU
Classification:
 - international: G06F3/02; G09B21/00; H01H13/02; H04M1/23;
 H04M1/26
 - european:
Application number: JP19980377617 19981228
Priority number(s): JP19980377617 19981228

Report a data error here

Abstract of JP2000200136

PROBLEM TO BE SOLVED: To dissolve defects that use is difficult, a cost is high and a wide space is required by providing an operation instruction character for a healthy user and operation instruction Braille for a blind user on a finger pressed surface.

SOLUTION: The operation instruction character for the healthy operator and the operation instruction Braille for the blind user the provided on the finger pressed surface. This device is used as the dial button 2 of a portable telephone 1 for instance, and the operation instruction character 4 for the healthy user and the operation instruction Braille 5 for the blind user the provided on a finger pressed peak surface 3. In this case, for instance, it is executed by turning the Braille 5 to a recessed shape or constituting an operation button such as the dial button 2 of a transparent plastic material, projectingly (recessedly) providing the operation instruction Braille 5 for the blind user on the outer surface and providing the operation instruction character 4 for the healthy user on an inner surface or providing the operation instruction character 4 for the healthy user and the operation instruction Braille 5 for the blind user as overlapped arrangement instead of side-by-side arrangement.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

REST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-200136

(P2000-200136A)

(43) 公開日 平成12年7月18日 (2000.7.18)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
G 0 6 F 3/02	3 1 0	G 0 6 F 3/02	3 1 0 F
G 0 9 B 21/00		G 0 9 B 21/00	B
H 0 1 H 13/02		H 0 1 H 13/02	B
H 0 4 M 1/23		H 0 4 M 1/23	R
1/26		1/26	
審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)			

(21) 出願番号 特願平10-377617

(22) 出願日 平成10年12月28日 (1998. 12. 28)

(71) 出願人 399002137

金田 芳洋

埼玉県大宮市大和田2丁目716

(71) 出願人 393026272

平山 勝

埼玉県鴻巣市大字笠原1864

(71) 出願人 399002148

市川 努

埼玉県岩槻市並木1丁目28番1-215号

(72) 発明者 金田 芳洋

埼玉県大宮市大和田2丁目716

(74) 代理人 100060896

弁理士 杉山 泰三

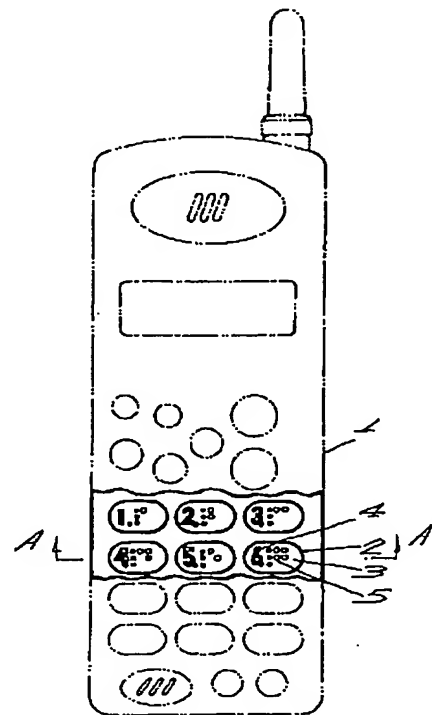
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 操作ボタン装置

(57) 【要約】

【課題】 新規の健常者・盲人共用型の操作ボタン装置を提供する。

【解決手段】 指の押圧面部に健常者用の操作指示用文字と盲人用の操作指示用点字とを設けて成るものである。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 指の押圧面部に健常者用の操作指示用文字と盲人用の操作指示用点字とを設けて成ることを特徴とする操作ボタン装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話器のダイヤルボタン等、パソコン・ワープロのキーボード、電卓のキー、エレベータの階数指示ボタン、電源入切用切換ボタン等の健常者・盲人共用型操作ボタン装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来知られているこの種の操作ボタン装置は、健常者用の操作指示用文字を操作ボタン本体の頂面に設け盲人用の操作指示用点字を同操作ボタン本体の設け部を囲む個所等に貼付ける等して設けた形式や、健常者専用のものと盲人専用のものとを別々に構成しこれ等を並べて設けて使用する形式であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の技術において述べた形式は、盲人用の操作指示用文字の位置と健常者用の操作指示用文字の位置とが比較的遠く離れているために特に盲人には使い辛い面があり、また製造に際しては健常者と盲人用とを別々に構成していたので結果的に割高となっているのみならず取付けるにも比較的広いスペースが必要であった等の問題点を有していた。

【0004】本発明は、上記問題点を解消するのに極めて有効な新規の操作ボタン装置を提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明に係る健常者・盲人共用型操作ボタン装置は、指の押圧面部に健常者用の操作指示用文字と盲人用の操作指示用点字とを設けて成るものである。

【0006】

【実施例】図に示す実施例は、携帯電話 1 のダイヤルボタン 2 として用いるようにしたものであって、手指の押圧頂面部 3 に健常者用の操作指示用文字 4 と盲人用操作指示用点字 5 とを設けたものである。

【0007】本発明は、たとえば①点字 5 を凹型とした

り、②ダイヤルボタン 2 等操作ボタンを透明プラスチック材料で構成してその外面に盲人用の操作指示用点字 5 を凸設（凹設）し内面に健常者用の操作指示用文字 4 を設けたり（図 3 参照）、③図 1 に示すように健常者用の操作指示用文字 4 と盲人用の操作指示用文字 5 を横並び配置とする代りに重り配置として設けたり、④内側からバックライト照明するようにしたりすることで実施することができる。尚、健常者の操作指示用文字は記号等を含むものとする。

【0008】上記①のようにした場合には汚れにくい利点があり、②のようにした場合には操作ボタンのプラスチック成形の際に金型の壁面に予めプリントを行うなどの工夫を施すことにより健常者用の操作指示用文字 4 と盲人用の操作指示用文字 5 とを一挙に設けることが容易となるので生産性の向上、低コスト化に都合がよく、②または③のようにした場合には健常者用の操作指示用文字 4 と盲人用の操作指示用文字 4 を設ける面積を半減できるので小型化に有利であり、④のようにした場合にはボタン自体および両文字 4、5 が目につき易くなって具合がよい。

【0009】

【発明の効果】本発明に係る操作ボタン装置は、上記のように指の押圧面部に健常者用の操作指示用文字と盲人用の操作指示用点字とを設けて成ることを特徴とするので、従来の技術において述べたような使い辛い欠点、割高となる欠点および広いスペースを必要とする欠点を解消することができ、所期の目的を完全に達成する著効を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例を示す一部省略正面図である。

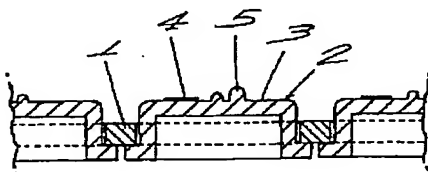
【図 2】図 1 A-A 線に沿う拡大断面図である。

【図 3】別例の実施例を示す拡大断面図である。

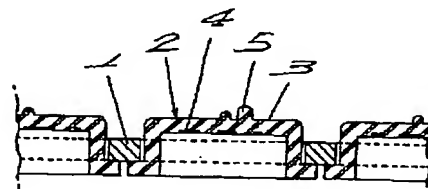
【符号の説明】

- 1 携帯用電話
- 2 ダイヤルボタン
- 3 頂面部
- 4 健常者用の操作指示用文字
- 5 盲人用の操作指示用点字

【図 2】

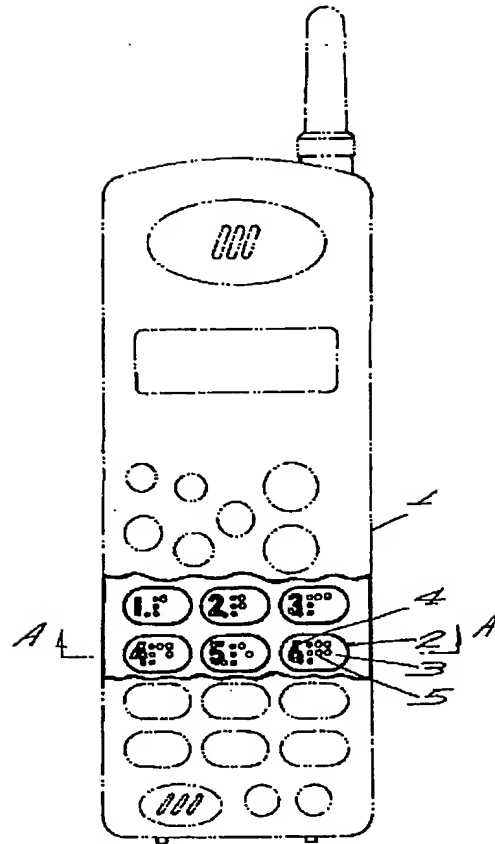


【図 3】



(3)

【図1】



フロントページの続き

(72)発明者 平山 勝
埼玉県鴻巣市大字笠原1864

(72)発明者 市川 努
埼玉県岩槻市並木1丁目28番1-215号

THIS PAGE BLANK (USPTO)